

ツシマヤマネコナイトツアー 観察ガイドライン

対馬グリーン・ブルーツーリズム協会

自然観察を行い、野生生物に親しむことは、自然保護や環境保全に対する意識の醸成につながる。一方で、過剰な接触や、不適切な行動は、野生生物に負の影響を及ぼす恐れもある。そこでツシマヤマネコの生態に影響を及ぼすような行為を避け、責任ある観察を行うことで、ツシマヤマネコへの影響を最小限に抑えることを目的に、本ガイドラインを定める。

1. ガイドの同行

探索ツアーを行う際は、ガイドが必ず同行し、慎重なルートの選定と訪問者の管理を行う

【ガイドの条件】

- ✓ ツシマヤマネコの生態や習性に対する十分な知識を有する
- ✓ 野生生物の保護・保全の必要性について、十分認識しており、自らも活動を行っている
- ✓ 豊富な観察経験を持ち、慎重にルートの選定を行うことができる

2. ツアー開始前のレクチャー

探索ツアーを行う際は、ツアー開始前に必ず事前のレクチャーを行い、正しい知識を持ってもらうとともに、観察時の注意事項を説明する

【レクチャーの内容】

- ✓ ツシマヤマネコの生態や習性
- ✓ ツシマヤマネコの減少要因
- ✓ ツシマヤマネコの保護・保全の必要性
- ✓ ツシマヤマネコ保護活動の内容
- ✓ 野外でのツシマヤマネコ観察時の注意点

3. 探索の方法

ヤマネコの探索は必ず車中から行い、以下の点を遵守する

- ✓ 探索に使用する車両は、軽自動車、小型自動車、普通車に限り、マイクロバス等の大型の車両は用いない
- ✓ 探索に使用する車両は1台を基本とし、3台までとする
- ✓ 同時に2台以上で探索する場合は、必ず全車両にガイドを同乗させる
- ✓ 探索にはハンディータイプのライトを用いる
- ✓ 農道や林道を探索する際には十分な減速走行を行う

4. ヤマネコへの接近

ヤマネコを発見し、車両から降りて観察を行う場合は、以下の点を遵守する

- ✓ 車両が走行する道路、農道、林道を外れて移動しない（畦畔や水路、河畔などへの侵入は禁止する）
- ✓ 観察には、双眼鏡またはフィールドスコープを用い、発見した地点から接近しない
- ✓ 観察時は、クラクションを鳴らす、大声を上げる、などの音を発する行為は禁止する
- ✓ 写真撮影を行う際は、フラッシュの使用は禁止する
- ✓ 観察者に対して、ヤマネコが動揺や警戒を示す行為を見せたときは、観察を中止し、速やかに車両に戻り、その場を離れる
- ✓ 非常に近接した距離にヤマネコがいる場合にも、触れようとしてはならない
- ✓ ヤマネコが逃げた場合も、追跡をしてはならない

5. その他

- ✓ 動植物などの採取は禁止する
- ✓ 餌付けは行わない
- ✓ トイレは野外では行わず、公共のトイレまたは携行用トイレを使用する
- ✓ ゴミはすべて持ち帰り、観察中に発見したごみは極力持ち帰る
- ✓ ガイドの指示に従わない訪問者がいる場合は、ツアーを中止する

作成日：
平成28年9月15日
改定日：
令和元年10月4日



写真：川口誠氏